



2026年9月18日（金）

各 位

ビタミンCなどの内服成分と外用成分トラネキサム酸の組み合わせにより、 紫外線による皮膚の明度低下に対し、単独の場合を上回る抑制効果を確認

体の内側と外側、両面からアプローチするしみケア研究の可能性を示唆

第一三共ヘルスケア株式会社（本社：東京都中央区、社長：内田高広、以下「当社」）は、ヒトの摘出皮膚を用いた内外適用モデル※による試験を行い、ビタミンCなどの内服成分と外用成分であるトラネキサム酸を組み合わせることで、単独の場合よりも紫外線照射により誘発される皮膚の明度低下に対する抑制効果が高まることを確認しました。

本研究による知見は、紫外線による皮膚の明度低下に対し、体の内側と外側の両面からアプローチするしみケア研究の可能性を示唆するものです。



当社は、第一三共株式会社が創製したトラネキサム酸に関する豊富な知見を基に、医薬品や薬用化粧品の領域で長年にわたりしみケア研究を推進してきました。本研究は、これまでの研究実績を基盤として、内服成分と外用成分を組み合わせた際の影響を検討する研究の一環として実施したものです。

今後も科学的根拠に基づく製品開発を通じて、しみケアにおけるセルフケアに貢献する新たな価値の創出に取り組んでまいります。

ビタミンCなどの内服成分：アスコルビン酸（ビタミンC）およびL-システイン

1. 研究の背景と目的

近年、記録的な猛暑や長期化する夏の影響を受け、日常的な紫外線対策への関心が高まっています。

これまで紫外線によるしみなどの皮膚の色素沈着に対しては、内服成分やスキンケアによるアプローチがそれぞれ検討されてきましたが、両者の併用による効果については十分に確認されていませんでした。

そこで本研究では、ビタミンCなどの内服成分と外用成分（トラネキサム酸）を組み合わせた際の影響を検証し、体の内側と外側の両面からアプローチするしみケア研究に関する新たな知見の獲得を目指しました。

2. 研究概要および成果

ヒト摘出皮膚を用いた内外適用モデル※を用いて、アスコルビン酸（ビタミン C）および L-システインの培地添加、トラネキサム酸溶液の塗布、および両者を同時に適用した場合を比較し、UVB 照射後の皮膚明度（L*値）の変化を評価しました。

<方法>

ヒト摘出皮膚を培地上に設置し、培地にアスコルビン酸および L-システインを溶解するとともに、角層側へトラネキサム酸溶液を塗布しました。これらの摘出皮膚に紫外線を照射し、数日間培養後に撮影した皮膚画像から皮膚明度（L*値）を測定しました。

<研究成果> 内外同時適用により、単独を上回る皮膚明度（L*値）低下抑制効果を確認

内服成分の適用とトラネキサム酸の塗布を同時に行った群では、それぞれ単独で行った群と比較して、皮膚明度（L*値）が有意に向上することが確認されました。このことから、内服成分（アスコルビン酸および L-システイン）と外用成分（トラネキサム酸）を組み合わせることで、単独の場合よりも皮膚明度（L*値）の低下を抑制できることが示唆されました。

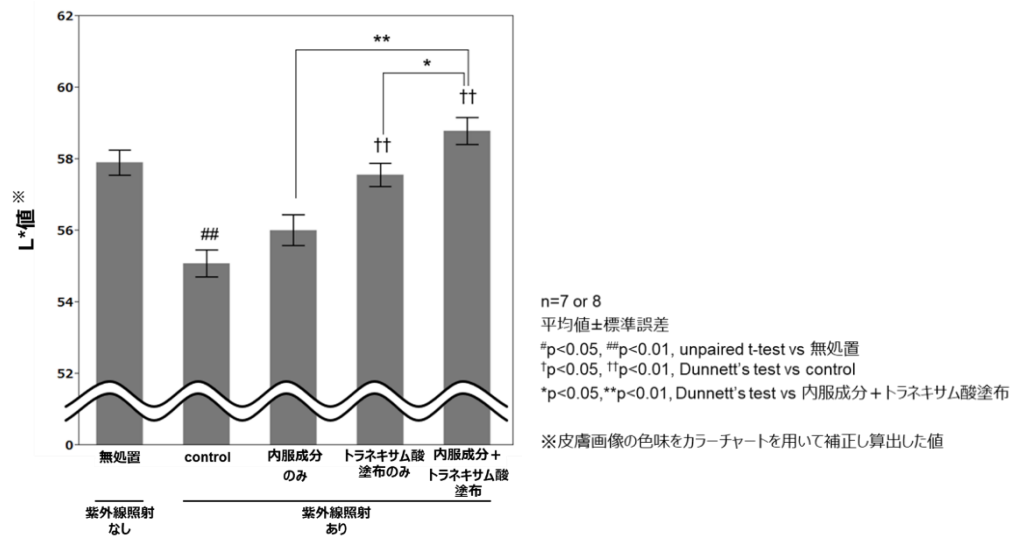


図 紫外線照射後の皮膚明度（L*値）低下抑制効果

3. 今後の展望

本研究の成果は、紫外線による皮膚の明度低下に対して、体の内服と外側からアプローチするしみケア研究の可能性を示唆するものと考えられます。

当社は、今後も科学的根拠に基づいた研究開発を通じて、生活者のセルフケアをサポートするとともに、QOL（生活の質）の向上に貢献してまいります。

<ご参考>

第一三共ヘルスケアについて

第一三共ヘルスケアは、OTC 医薬品領域におけるリーディングカンパニーとしての強みを基盤に、機能性スキンケア・オーラルケア・食品分野へと事業領域を拡大し、生活者の健やかな人生に寄り添うトータルヘルスケア企業として成長を続けています。

私たちの理念を体現するコーポレートスローガン「Fit for You ひとりひとりの健やかな人生のライフパートナー」を掲げ、誰もが安心してセルフケア・セルフメディケーションに取り組める社会の実現に貢献してまいります。

※ 内外適用モデル：内服成分（アスコルビン酸、L-システイン）の適用とトラネキサム酸の塗布を同時に行う実験モデル